

会議録

会議の名称	西東京市立学校統合協議会（第2回会議）
開催日時	平成26年7月7日（月曜日） 午後3時から午後5時10分まで
開催場所	防災センター6階 講座室2
出席者	委員：羽豆成二、須永功、勝又俊江、高松恵子、前田涼子、門馬晶子、菅家淳子、藤井和美、有澤多津子、高柳徹、中西静江、堀口悦子、真鍋五十鈴、幸内悦夫、中村千佳子、屋宮茂穂、中村清敬 事務局：坂本眞実（教育部特命担当部長）、早川礼成（教育企画課長）、内田辰彦（教育部主幹（教育指導課）兼統括指導主事）、岡本範子（教育企画課長補佐(企画調整係)）、児山晃男（教育部副主幹(教育企画課企画調整係)）福井光（教育企画課企画調整係主事）
傍聴者	7人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 「泉小学校と住吉小学校の統合に伴う就学希望校調査 調査結果報告書」について 4 泉小学校・住吉小学校からの情報提供（地域との関わりについて） 5 統合校の将来像について 6 その他 7 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立学校統合協議会（第1回会議）会議録(案) 資料2 泉小学校と住吉小学校の統合に伴う就学希望校調査 調査結果報告書 資料3 西東京市立学校統合協議会第2回会議ワークシート 資料4 西東京市立学校統合協議会第2回会議ワークシート集計結果
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>議題1開会</p> <p>議題2 会議録の確認</p> <p>○座長： 前回第1回の会議録(案)について事前に送付しているが、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○委員： （異議なし）</p> <p>○座長： 何もないようなので正式な会議録とする。</p>	

議題3 「泉小学校と住吉小学校の統合に伴う就学希望校調査 調査結果報告書」について

○事務局：

資料2に基づき説明。

○座長：

資料について何か質問があるか。

○委員：

10月の調査が最終とのことだが、それまでの説明会等の開催を含めたスケジュールについて教えてほしい。

○事務局：

説明会の具体的な予定はない。泉小学校・住吉小学校の保護者の方には「統合協議会だより」を中心に情報の周知を考えている。交流事業や心のケア部分等についてお伝えすべき内容があれば、それ以外でも適宜対応してまいりたい。

○委員：

10月に実施するのが残り1回の調査で最終なのか。

○事務局：

今のところそのとおりである。

議題4 泉小学校・住吉小学校からの情報提供（地域との関わりについて）

○委員：

泉小学校の学校運営協議会の活動等について説明。

○委員：

泉小学校の育成会の活動等について説明。

○委員：

住吉小学校の学校運営協議会の活動等について説明。

○座長：

住吉小学校の育成会の活動等については、当該委員が欠席の為、資料の配布によって情報提供に代えさせていただく。何か質問があるか。

○委員：

泉小学校の学校施設開放運営協議会の説明の中で、新校を新しい枠組みの中で進めていくという話があったが、各団体への対応について、いつ頃までに話し合われるのか。

○事務局：

所管課ごとに各地域の団体へアプローチをしているので、いつ頃までにというのは明確には申し上げられない。

○委員：

学校施設開放運営協議会は、6月に話し合いをして、今月も打合せをする等、今後の運営について検討していく。

○委員：

育成会は、今年度末を目途に話し合って4月に新しい育成会を立ち上げるよう所管課から話があり、少しずつ詰めていきたいと考えている。

議題5 統合校の将来像について

○事務局：

資料3、資料4に基づき説明。

○委員：

住吉小学校の将来への取組について説明。

○座長：

資料や説明を基に将来像について自由に語り合いたいと思う。何か御意見があるか。

○委員：

社会の変化があって統合が行われてきている。思い切ってこれまでの西東京市の学校のイメージ等にとらわれずに先進的な取組をすれば良いかと思う。地域の人や保護者の願いがワークシートにはあるので、それを参考にさせていただければと考える。学校施設、地域、教員を活用して動きのある学校にしていって欲しい。

○委員：

ライフスキル教育を行っている学校がある。心の力や人間関係のまずさでトラブルを抱えてしまった人に対し、個人個人に目標を持たせて達成するためにはどうしたら良いかということ個人個人に教えていくというものである。豊かな心と身体に関係することで、そういうところの良いところは取り組んでいくという必要がある。目標の達成感を植え付けさせることは必要だと思う。また、学校と家庭だけではなく地域を巻き込んだ学校づくりをしていくことが大切かと思う。

○委員：

いじめが起こっても解決していけるような学校になると良いと思う。豊かな心の面からみても、新しい学校では別の学校、別の環境で育った人と一緒になるので、相手の気持ちを思いやることを育むチャンスだと思う。個人的に私立の中学、高校みたいに先進的な学校になるのは公立の学校としては違うのかと思うので、どの程度の先進性を持つべきか検討した方が良い。また、英語教育については、先生との顔を見た会話が重要になってくるかと思う。

○委員：

学校は積極的に地域の力を活用して欲しいと思う。学校が地域に直接アプローチして行って、地域の人がどんどん入っていけるようにするようになっていただければと思う。2020年のオリンピックがあるが、世界の出来事を身近に感じられるチャンスなので、生かしてほしいと思う。

○委員：

ICTや反転授業の良い所を取り込んで、あくまでもツールとして使うようにする。それらに振り回されないようにしていくようにして、先進的な部分を西東京市として上手く位置付けていけば良いと思う。グローバル化を視野にして進んで取り組まなければと考えている。体幹を鍛える、姿勢学習の取組は重要と考える。

○委員：

泉小学校の伝統や素晴らしさを伝えていくのは統合校だと考えている。両校長は両校児童をそれぞれ自校の児童と考えて関わっている。両校の保護者交流会があり、泉小の子供達を待っていることが伝わってきたという報告もある。一つ一つの不安が安心に変わっているところである。英語学習については、泉小学校と住吉小学校でつなげていけると感じている。和の精神を大事にする、思考力・精神力・表現力のある児童を育て、地域の核となる学校を作っていきたいと考えている。

○委員：

色々と悩んでいるところだが、ワークシートの意見等を見て今後の参考としていきたいと思う。

○委員：

英語教育は大切だと思っている。学校で学ぶ英語が、受験対策の英語なのか、話すための英語なのかと、どこまで学ぶものなのかと思うところがある。

○委員：

英語について、今は外国語活動としてコミュニケーション力を高めるという授業だが、これからは教科化してくるかと思う。

○委員：

今の英語は遊び的な導入部分なような気がする。果たして、それでグローバル化につながるのかと思う。

○座長：

委員がおっしゃるように、これからは実生活で使える英語を学べるような方向性を大切にすることが必要である。

○委員：

言語は学んでから定着する必要がある。自分の言いたいことを言えるというのが大事であると考えている。

○委員：

目標をもって系統化して学べてコミュニケーション能力も育ってくるかと思う。

○委員：

今の中学校の英語の授業は、細かい指示も英語で行っている。かつてはそのようなことができなかったが、小学校の英語の授業の成果で可能になったと考えることができる。

○委員：

英語活動には興味を持つことが大事。まずは、英語の先生とコミュニケーションをとり耳に入れていくことが必要である。また、正しい日本語を学ぶことも大切である。きちんとした日本語の定着もしていただければと思う。

○委員：

読書量を増やしつつ、日本の伝統文化を重んじるようにしていただきたい。日本の教育は世界各国で見直されている。もっと誇りを持てるように良いと感じる。勇気を持たせてくれるような環境作りをしていただきたいと考える。

○委員：

PTAの設立が気になっている。ある学校は活気があると思っている。地域を取り込む面においては大事なのかなと感じた。

○委員：

自分が周りに大事にされる、これ以上の幸せはない。自分をきちんと表現をしていくこと、そうした環境を作ることが大事である。色々案は出ているが、核を持ってバランスが保たれた新しい学校づくりができればと思う。

○委員：

色々なことを考えながらいるのが現実で、最終的に子供たちがニコニコ通える学校があれば良いと思う。今の住吉小学校は言葉遣いがきちんとなっていてとても良い。適切な言葉、礼儀、相手を思いやる気持ちなど育てていければと思う。

○委員：

和を大切にしたいと思う。また、色々個別のテーマがあるが、全体的に見てきちんとした子供に育ってもらえればと思う。

○委員：

小学校時代が人格形成に与える影響はものすごく大きい。かけがえのない時期であることを心に刻んでもらいたい。小学校はいつまでも和める場所であってほしい。面と向かって人と人との対話ができるような子供になってほしい。

○委員：

調査結果についての質問だが、保谷小学校と谷戸第二小学校への受け入れについては10月の再調査の時に決定するのか。また、希望者全員を受け入れることができるのか。

○事務局：

今後のスケジュールについては、秋に再度の調査を行い、それをもってクラス編成等に取り組んでいく予定である。統合の基本方針のとおり、希望のとおり他の二校でも受け入れる。二校との調整は進めていく予定である。

○座長：

将来の学校像について、全員から御意見をいただいた。これをできる限り実現できるように知恵を出して対応を図っていただければと思う。過去の良いところは是非受け継いで、生かしていくようにするとともに、日本的な良さを大切にしながら、これからの社会の変化に対応していく学校にできればというのが思いである。

議題6 その他

○事務局：

次回会議については日程調整ができ次第連絡させていただく。

閉会